※ 設定・備考にあるパージョン(xxx)は、インストールするITAパージョンに読み替えてください。 また、(ITAインストール先ディレクトリ名)、(外部ストレージサーバのIPアドレス)、(Ansibleサーバのホスト名)などの文字はインストールする環境に合わせて適宜読み替えてください。

No. 目的	共通 構築資材管理 メニュー作成 ホストグループ 明 Ansible	設定	備考
ITAインストール資材展開		インストール資材展開先にITA資材vxxx.tar.gzを配置してください。 cd /(インストール資材展開先) s - vxxx.tar.gz ITAインストール資材を展開してください。 tar -zxf vxxx.tar.gz ITAインストールディレクトリを設定します。 find it-automation-xxxx -type f xargs -Ii sed -i -e "s:%%%%%ITA_DIRECTORY%%%%:/(ITAインストール先ディレクトリ):g" []	インストール資材の展開先は、どのディレクトリでも問題ありません。 オンラインの場合は以下のコマンドで取得してください。 wget https://github.com/exastro-suite/it-automation/archive/vx.x.tar.gz
yum-utilsインストール			
4 【CentOS7、RHEL7の場合】 yum-utilsをインストールする		以下のパッケージをインストールしてください。 yum-utils	オンラインの場合は以下のコマンドでインストールしてください。 yum install -y yum-utils
PHPインストール			, , ,
5 PHPをインストールする		以下のパッケージをインストールしてください。 php php-bcmath php-cli php-ldap php-mbstring php-mysqlnd php-pear php-pecl-zip php-process php-snmp php-xml zip telnet mailx unzip php-json php-gd python3 php-devel libyaml libyaml-devel make sudo crontabs	オンラインの場合は以下のコマンドでリポジトリを有効にしてください。 【CentOS7、RHEL7の場合】 yum install -y http://rpms.remirepo.net/enterprise/remi-release-7.rpm yum-config-managerenable remi-php72 【CentOS8、RHEL8の場合】 リポジトリは追加しません。 オンラインの場合は以下のコマンドでインストールしてください。 yum install -y php php-bcmath php-cli php-ldap php-mbstring php-mysqlnd php-pear php-pecl-zip php-process php-snmp php-xml zip telnet mailx unzip php-json php-gd python3 php-devel libyaml libyaml-devel make sudo crontabs
6 PEARライブラリをインストールする		以下のPEARパッケージをインストールしてください。 HTML_AJAX-beta	オンラインの場合は以下のコマンドでインストールしてください。 pear install HTML_AJAX-beta
7 HTML_AJAX-betaの設定を行う		In -s /usr/share/pear-data/HTML_AJAX/js /usr/share/pear/HTML/js	
8 php-yamlをインストールする		以下のパッケージをインストールしてください。 php-yaml	オンラインの場合は以下のコマンドでインストールしてください。 pecl channel-update pecl.php.net echo "" pecl install YAML
9 PhpSpreadsheetをインストールする		以下のディレクトリを作成してください。 mkdir -p /usr/share/php/vendor	
10		PhpSpreadsheetパッケージを/usr/share/php/vendorディレクトリにインストールしてください。	オンラインの場合は以下のコマンドでインストールしてください。 curl -sS https://getcomposer.org/installer phpinstall-dir=/usr/bin /usr/bin/composer.phar require "phpoffice/phpspreadsheet":"1.14.1" mv vendor /usr/share/php/
PHPの設定			
11 【CentOS7、RHEL7の場合】 php.iniを設定する	$ \bullet $ $ $ $ $ $ $	cp -p /(インストール資材展開先)/it-automation-x.x.x/ita_install_package/ext_files_for_CentOS7.x/etc/php.ini /etc/	
12 【CentOS8、RHEL8の場合】 php.iniを設定する	•	cp -p /(インストール資材展開先)/it-automation-x.x.x/ita_install_package/ext_files_for_CentOS8.x/etc/php.ini /etc/	
13 【CentOS8、RHEL8の場合】 www.confを設定する	•	cp -p /(インストール資材展開先)/it-automation-x.x.x/ita_install_package/ext_files_for_CentOS8.x/etc_php-fpm.d/www.conf /etc/php-fpm.d/	

No. 目的	備考 先ディレクトリの親ディレクトリ全てに「その他のユーザ」 てください。
ITAインストール TAインストール TAインストール TAインストール先ディレクトリ作成 Mkdir -p / (ITAインストール先ディレクトリ) Mkdir -p / (ITAインストール先ディレクトリ) XITAインストール先の実行権限を与えての実行権限を与えての	先ディレクトリの親ディレクトリ全てに「その他のユーザ」
ITAインストール 14 インストール先ディレクトリ作成	先ディレクトリの親ディレクトリ全てに「その他のユーザ」 てください。
14 インストール先ディレクトリ作成	先ディレクトリの親ディレクトリ全てに「その他のユーザ」 てください。
の実行権限を与えて	先ディレクトリの親ディレクトリ全てに「その他のユーザ」 てください。
15 共有用ディレクトリの作成 □ 以下の外部ストレージとの共有用ディレクトリを作成してください。	
/(ITAインストール先ディレクトリ)/ita-root/temp /(ITAインストール先ディレクトリ)/ita-root/uploadfiles /(ITAインストール先ディレクトリ)/ita-root/webroot/uploadfiles /(ITAインストール先ディレクトリ)/ita-root/webroot/menus/sheets /(ITAインストール先ディレクトリ)/ita-root/webroot/menus/users /(ITAインストール先ディレクトリ)/ita-root/webconfs/sheets /(ITAインストール先ディレクトリ)/ita-root/webconfs/sheets	
backyardサーバの共有ディレクトリ 外部ストレージの共有ディレクトリ	
/(ITAインストール先ディレクトリ)/data_relay_storage /(任意の共有用ディレクトリ)/data_relay_storage	
/(ITAインストール先ディレクトリ)/ita-root/temp /(任意の共有用ディレクトリ)/ita-root/temp	
/(ITAインストール先ディレクトリ)/ita-root/uploadfiles /(任意の共有用ディレクトリ)/ita-root/uploadfiles	
/(ITAインストール先ディレクトリ)/ita-root/webroot/uploadfiles /(任意の共有用ディレクトリ)/ita-root/webroot/uploadfiles	
/(ITAインストール先ディレクトリ)/ita-root/webroot/menus/sheets /(任意の共有用ディレクトリ)/ita-root/webroot/menus/sheets	
/(ITAインストール先ディレクトリ)/ita-root/webroot/menus/users /(任意の共有用ディレクトリ)/ita-root/webroot/menus/users	
/(ITAインストール先ディレクトリ)/ita-root/webconfs/sheets /(任意の共有用ディレクトリ)/ita-root/webconfs/sheets	
/(ITAインストール先ディレクトリ)/ita-root/webconfs/users /(任意の共有用ディレクトリ)/ita-root/webconfs/users	
TTA資材配置	
18 ITA設定ファイル配置	
19 ITAで使用するディレクトリ作成	
mkdir -p /(ITAインストール先ディレクトリ)(ファイルに記載しているパス)	
20 権限を変更する(755)	
て、先頭に/(ITAインストール先ディレクトリ)をつけて一行ずつ権限を変更してください。	
chmod 755 / (ITAインストール先ディレクトリ) (ファイルに記載しているパス)	
21 権限を変更する(777)	
chmod 777 /(ITAインストール先ディレクトリ)(ファイルに記載しているパス)	
22 ita_baseのリリースファイルを配置する	
23 materialのリリースファイルを配置する	
24 material (資材紐付け管理(Ansible)) のリリースファイルを配置する	
 ※materialとansible_driverをインストールする場合に実行してください。 ② pトリ)/ita-root/libs/release/. ② material(資材紐付け管理(Terraform))のリリースファイルを配置する ② p - p /(インストール資材展開先)/it-automation-x.x.x/ita_install_package/ITA/ita-releasefiles/ita_material4/(ITAインストール先ディレーンのフェースを発力しています。 	
 ※materialとterraform_driverをインストールする場合に実行してください。 プトリ)/ita-root/libs/release/. createparamのリリースファイルを配置する createparamのリリースファイルを配置する createparamのリリースファイルを配置する 	
レクトリ)/ita-root/libs/release/. 27 hostgroupのリリースファイルを配置する □ cp ¬p /(インストール資材展開先)/it-automation¬x.x.x/ita_install_package/ITA/ita-releasefiles/ita_hostgroup /(ITAインストール先ディレ	
クトリ) /ita-root/libs/release/.	
8 hostgroup(ホストグループ変数化)のリリースファイルを配置する ※hostgroupとAnsible_driverをインストールする場合に実行してください。 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	

		目的					
No. 目的	并	構築資材管理メニュー作成	ホストグループ Ansible	Cobbler	Terraform	設定	備考
29 ansible_driverのリリースファイルを配置する			•			o -p /(インストール資材展開先)/it-automation-x.x.x/ita_install_package/ITA/ita-releasefiles/ita_ansible-driver /(ITAインストール先 ディレクトリ)/ita-root/libs/release/.	
30 cobbler_driverのリリースファイルを配置する				•		o -p /(インストール資材展開先)/it-automation-x.x.x/ita_install_package/ITA/ita-releasefiles/ita_cobbler-driver /(ITAインストール先 ディレクトリ)/ita-root/libs/release/.	
31 terraform_driverのリリースファイルを配置する						o -p /(インストール資材展開先)/it-automation-x.x.x/ita_install_package/ITA/ita-releasefiles/ita_terraform-driver /(ITAインストール先 『ィレクトリ)/ita-root/libs/release/.	
32 MariaDB接続情報設定	•				my 2)以下の文字列をbase64エンコード、rot13暗号を行った文字列を作成してください。 ysql:dbname=(ITAのDB名);host=(DBMSサーバのIPアドレス))作成した文字列を以下のファイルに書き込んでください。※記載済みの値は削除してください (ITAインストール先ディレクトリ)/ita-root/confs/commonconfs/db_connection_string.txt	例: ITAのDB名が「ITA_DB」、DBMSサーバのIPアドレスが1.1.1.1の場合、以下のコマンドでbase64エンコード、rot13暗号を行った文字列を取得できます。echo -ne "mysql:dbname=ITA_DB;host=1.1.1.1" base64 tr '[A-Za-z]' '[N-ZA-Mn-za-m]'
33 MariaDBのユーザ情報設定	•				2	MariaDBのユーザ名をbase64エンコード、rot13暗号を行った文字列を作成してください。)作成した文字列を以下のファイルに書き込んでください。※記載済みの値は削除してください (ITAインストール先ディレクトリ)/ita-root/confs/commonconfs/db_username.txt	例: MariaDBのユーザ名が「ITA_USER」の場合、以下のコマンドでbase64エンコード、rot13暗号を行った文字列を取得できます。 echo -ne "ITA_USER" base64 tr '[A-Za-z]' '[N-ZA-Mn-za-m]'
34 MariaDBのパスワード情報設定	•				2	MariaDBのパスワードをbase64エンコード、rot13暗号を行った文字列を作成してください。)作成した文字列を以下のファイルに書き込んでください。※記載済みの値は削除してください (ITAインストール先ディレクトリ)/ita-root/confs/commonconfs/db_password.txt	例: MariaDBのパスワードが「ITA_PASSWD」の場合、以下のコマンドでbase64ユンコード、rot13暗号を行った文字列を取得できます。 echo -ne "ITA_PASSWD" base64 tr '[A-Za-z]' '[N-ZA-Mn-za-m]'
ITAのbackyard設定 35 backyardの設定ファイルのリンクを作成する					ln	-s / (ITAインストール先ディレクトリ) / ita-root/confs/backyardconfs/ita_env /etc/sysconfig/ita_env	
ita_baseのbackyard処理のサービスファイルをコピーする	•				/(/u	<mark>(インストール資材展開先)</mark> /it-automation-x.x.x/ita_install_package/list/base_service_list.txt に書かれているサービスファイルを usr/lib/systemd/system/ にコピーしてください。	
37 materialのbackyard処理のサービスファイルをコピーする		•				p -p /(ITAインストール先ディレクトリ)/(base_service_list.txtに書かれているサービスファイル).service /usr/lib/systemd/system/. (インストール資材展開先)/it-automation-x.x.x/ita_install_package/list/material_service_list.txt に書かれているサービスファイルを	
					/u	usr/lib/systemd/system/ にコピーしてください。	
material (資材紐付け管理(Ansible)) のbackyard処理のサービスファイルをコピーする ※materialとansible_driverをインストールする場合に実行してください。		•	•		/(o -p /(ITAインストール先ディレクトリ)/(material_service_list.txtに書かれているサービスファイル).service /usr/lib/systemd/system/. (インストール資材展開先)/it-automation-x.x.x/ita_install_package/list/material2_service_list.txt に書かれているサービスファイルをusr/lib/systemd/system/ にコピーしてください。	
material(資材紐付け管理(Terraform))のbackyard処理のサービスファイルをコピーする ※materialとterraform_driverをインストールする場合に実行してください。		•			• /(o -p /(ITAインストール先ディレクトリ)/(material2_service_list.txtに書かれているサービスファイル).service /usr/lib/systemd/system/. (インストール資材展開先)/it-automation-x.x.x/ita_install_package/list/material4_service_list.txt に書かれているサービスファイルをusr/lib/systemd/system/にコピーしてください。	
40 createparamのbackyard処理のサービスファイルをコピーする						o -p /(ITAインストール先ディレクトリ)/(material4_service_list.txtに書かれているサービスファイル).service /usr/lib/systemd/system/. (インストール資材展開先)/it-automation-x.x.x/ita install package/list/createparam service list.txt に書かれているサービスファイルを	
eu createparamujoackyaro処理のサービスファイルをコピーする					/u	(インストール真材展開光)/にTautomation=x.x.x/にa_instail_package/list/createparam_service_list.txtに書かれているサービスファイルを usr/lib/systemd/system/にコピーしてください。 p -p /(ITAインストール先ディレクトリ)/(createparam_service_list.txtに書かれているサービスファイル).service	
41 hostgroupのbackyard処理のサービスファイルをコピーする			•			(<mark>インストール資材展開先</mark>)/it-automation-x.x.x/ita_install_package/list/hostgroup_service_list.txt に書かれているサービスファイルを usr/lib/systemd/system/ にコピーしてください。	
42 hostgroup(ホストグループ変数化)のbackyard処理のサービスファイルをコピーする ※hostgroupとAnsible_driverをインストールする場合に実行してください。			• •		/(o -p /(ITAインストール先ディレクトリ)/(hostgroup_service_list.txtに書かれているサービスファイル).service /usr/lib/systemd/system/. (インストール資材展開先)/it-automation-x.x.x/ita_install_package/list/hostgroup2_service_list.txt と hostgroup3_service_list.txt に書か しているサービスファイルを/usr/lib/systemd/system/ にコピーしてください。	
						o -p / (ITAインストール先ディレクトリ) / (hostgroup2_service_list.txtに書かれているサービスファイル) .service usr/lib/systemd/system/.	
№ ansible_driverのbackyard処理のサービスファイルをコピーする			•		/u	(インストール資材展開先)/it-automation-x.x.x/ita_install_package/list/ansible_service_list.txt に書かれているサービスファイルを usr/lib/systemd/system/ にコピーしてください。 p -p /(ITAインストール先ディレクトリ)/(ansible_service_list.txtに書かれているサービスファイル).service_/usr/lib/systemd/system/.	
44 ansible_driver(収集機能)のbackyard処理のサービスファイルをコピーする ※createparamとAnsible_driverをインストールする場合に実行してください。		•	•		/(/u	o-p / (ITA1フストール光ディレクトリ) / (ansible_service_list.txtに書かれているサービスファイル).service / usr/lib/systemd/system/. (インストール資材展開先) /it-automation-x.x.x/ita_install_package/list/createparam2_service_list.txt に書かれているサービスファイルをusr/lib/systemd/system/ にコピーしてください。 o-p / (ITAインストール先ディレクトリ) / (createparam2_service_list.txtに書かれているサービスファイル).service	
cobbler_driverのbackyard処理のサービスファイルをコピーする				•	/(/u	(インストール資材展開先)/it-automation-x.x.x/ita_install_package/list/cobbler_service_list.txt に書かれているサービスファイルを usr/lib/systemd/system/ にコピーしてください。 p -p /(ITAインストール先ディレクトリ)/(cobbler_service_list.txtに書かれているサービスファイル).service /usr/lib/systemd/system/.	
46 terraform_driverのbackyard処理のサービスファイルをコピーする					• /((インストール資材展開先)/it-automation-x.x.x/ita_install_package/list/terraform_service_list.txt に書かれているサービスファイルを usr/lib/systemd/system/ にコピーしてください。	
					ср	p -p /(ITAインストール先ディレクトリ)/(terraform_service_list.txtに書かれているサービスファイル).service /usr/lib/systemd/system/.	

		目的			
No.	引的 照 米	構染負め官埋 メニュー作成 ホストグループ	Ansible Cobbler	設定	備考
47 サービスの常駐設定を行う	•			ls -1 /usr/lib/systemd/system/. grep ky_ xargs systemctl enable	
48 サービスの起動を行う	•			ls -1 /usr/lib/systemd/system/. grep ky_ xargs systemctl start	
 ITAのcron設定					
49 cron設定を行う				にrontab -e 以下内容を追記してください。 01 00 * * * * suc /(ITAインストール先ディレクトリ) / ita-root/backyards/common/ky_execinstance_dataautoclean-workflow.sh' 02 00 * * * suc /(ITAインストール先ディレクトリ) / ita-root/backyards/common/ky_file_autoclean-workflow.sh'	
hostsの設定					
50 /etc/hostsの設定				vi /etc/hosts 以下を追記してください。(連携ドライバサーバの記載については、使用するサーバのもののみを追記してください) 127.0.0.1 (backyardサーバのホスト名) (AnsibleサーバのIPアドレス) (AnsibleTowerサーバのホスト名) (AnsibleTowerサーバのIPアドレス) (AnsibleTowerサーバのホスト名) (CobblerサーバのIPアドレス) (Cobblerサーバのホスト名)	
Gitインストール					
51 Gitをインストールする		•		以下のパッケージをインストールしてください。 git	オンラインの場合は以下のコマンドでインストールしてください。 yum install -y git